

平成28年度 湖東記念病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞のICD10別患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~
患者数	30	21	27	36	130	206	577	781	656	220

当院は開設より地方行政と地域の医療関係者の方々から力強い病々連携、病診連携をいただきながら、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科を中心に質の高い医療を目指してまいりました。滋賀県の湖東地域においても高齢化により60歳以上の患者さんが上記のように全体の約8割を占める結果となりました。小児期の気管支喘息、肺炎から大人の循環器疾患、脳疾患、骨折など、さらには高齢の方の重症化症例など多種多様の疾患に対し、地域に密着した医療活動を幅広く展開しています。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 バス
100380xxxxxxxx	体液量減少症	20	7.50	9.33	0.00	74.00	-
110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	19	12.53	12.43	10.53	79.58	-
0400801499×001	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上）手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	11	12.09	13.60	0.00	83.91	-
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	-	-	5.24	-	-	-

040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	21.25	-	-	-
----------------	----------------------------	---	---	-------	---	---	---

高齢化が進み嚥下機能低下、脱水、それに伴う尿路感染などの疾患が増加しています。当院では脳疾患、心疾患をもつ高齢者も多いため肺炎や腎盂腎炎などの疾患も重症化しやすく治療も長引く傾向にあります。

高齢者は気温が上昇すると食欲低下により機能が低下し誤嚥や尿路感染をおこし、一度治癒しても再発を繰り返し入院期間も延び再入院も増えています。

小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用バス
0400801199x00x	肺炎等（1歳以上15歳未満） 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	5.79	-	-	-
040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他） 副傷病なし	-	-	6.02	-	-	-
150010xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	-	-	5.50	-	-	-
030270xxxxxxxx	上気道炎	-	-	4.83	-	-	-
0400801099x00x	肺炎等（0歳）手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	6.30	-	-	-

小児期のお子様は風邪をこじらせて気管支炎、肺炎になることもしばしばあり、高熱や咳が続きます。また、もともと気管支炎、肺炎になりやすいマイコプラズマやRSウイルスといった感染症もあります。流行がみられ入院が必要なケースもあります。

腸炎は、嘔吐、下痢、発熱などの症状が出ます。原因としては、様々なウイルス、有名なものとしてノロウイルス、ロタウイルスなどがあります。流行期は、手洗いなどの感染予防が必要です。また、ロタウイルス予防にはワクチン（0～6か月未満）もあります。症状がひどい場合は、入院が必要なケースがあります。尚、入院加療については近隣の病院とも連携しております。

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用バス
060020xx99x30x	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等23あり 副傷病なし	-	-	6.88	-	-	-

060335xx02000x	胆囊水腫、胆囊炎等 腹腔鏡下胆囊摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	7.61	-	-	-
060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）手術なし 手術・処置等24あり 副傷病なし	-	-	9.82	-	-	-
060020xx99x00x	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	11.20	-	-	-
060040xx99x00x	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	9.45	-	-	-

抗癌剤治療は当院手術症例はもちろん、当院手術症例以外でも入院、外来ともに積極的に行ってています。外来化学療法は午前中の混雑時を避け、午後から化学療法外来を月、水、金曜日の週3回、専用の化学療法室で行っています。

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 バス
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	44	44.11	27.63	45.45	84.59	-
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷 (胸・腰髓損傷を含む。) 手術なし 副傷病なし	16	27.94	20.57	56.25	82.06	-
160700xx97xx0x	鎖骨骨折、肩甲骨骨折 手術あり 副傷病なし	11	10.18	5.86	0.00	62.91	-
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む）人工関節再置換術等	-	-	26.26	-	-	-
160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり 副傷病なし	-	-	5.49	-	-	-

整形外科では、大腿骨近位部骨折に対する手術目的で入院された患者さんが最も多く、骨接合術や人工骨頭挿入術を行いました。次いで脊椎や骨盤骨折に対する保存治療で入院された方が多く、いずれも骨粗鬆症に伴う発生頻度の高い外傷で在宅治療が困難なものです。また、リハビリ目的で転院する患者さんも多数おられます。自宅退院まで当院でのリハビリを希望される方も多くおられ、平均在院日数が長い要因になっていると思われます。高齢者の骨粗鬆症に対する保存治療も積極的に行っております。

脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均 年齢	患者 用 バス
010120xx01xxxx	特発性（単）ニューロパシー 三叉神経節後線維切截術等	46	8.43	14.12	0.00	64.09	-
010050xx02x00x	非外傷性硬膜下血腫 慢性硬膜 下血腫穿孔洗浄術等 手術・処 置等2なし 副傷病なし	36	10.33	11.83	8.33	79.33	-
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手 術・処置等2なし 副傷病なし	33	7.30	7.52	9.09	70.73	-
010010xx01x00x	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 手 術・処置等2なし 副傷病なし	29	16.59	22.47	6.67	50.17	-
030390xx970xxx	顔面神経障害 手術あり 手術・ 処置等1なし	26	7.19	11.39	3.85	56.27	-

入院患者数の多い疾患の内訳は二群に分かれます。一群は三叉神経痛や顔面けいれんに対する神経血管減圧術と良性脳腫瘍摘出術の手術症例です。地域外からの紹介が多く、低侵襲手術であり在院日数は全国平均より短くなっています。もう一群は、脳神経外科の中核病院としてのもので近隣地域からの入院であり、頭部外傷が多くなっています。入院期間は、ほぼ全国と同様です。

心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均 年齢	患者 用 バス
050180xx97xxxx	静脈・リンパ管疾患 その他の 手術あり	178	1.50	3.34	0.00	66.73	-
050080xx01010x	弁膜症（連合弁膜症を含む）口 ス手術（自己肺動脈弁組織によ る大動脈基部置換術）等 手 術・処置等1なし 手術・処置等 21あり 副傷病なし	18	17.28	24.70	0.00	68.28	-
050163xx02x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植 を含む。）腹部大動脈（分枝血 管の再建を伴うもの）等 手 術・処置等21あり	17	16.82	21.94	5.88	71.35	-

050080xx0111xx	弁膜症（連合弁膜症を含む）口 ス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手 術・処置等11あり 手術・処置 等21あり	13	22.23	38.92	0.00	75.69	-
050050xx0101xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心 室瘤切除術（梗塞切除を含 む。）単独のもの等 手術・処 置等1なし 手術・処置等21あ り	12	20.67	23.36	16.67	72.58	-

心臓血管外科では、全身の心臓・血管病に対する手術を全般的に行ってています。開設が2014年とまだまだ若い診療科ではありますが、循環器内科医師や看護師・理学療法士・臨床工学技士など他職種とハートチームを形成し、患者さんにとって最適と思われる方法を選択し、協力して治療を行っています。70歳以上の高齢者が多いですが、どの手術後もほとんどの方は、手術の翌日から食事をすることができています。また、リハビリテーションのため自分の足で歩いて、集中治療室から出ていくことができ、どの疾患も全国平均よりも短い入院期間で退院されています。

皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均 年齢	患者 用バス
080110xxxxx0xx	水疱症 手術・処置等2なし	-	-	30.11	-	-	-
080250xx9701xx	褥瘡潰瘍 手術あり 手術・処 置等1なし 手術・処置等2あ り	-	-	45.68	-	-	-
080011xx970xxx	急性膿皮症 手術あり 手術・ 処置等1なし	-	-	18.22	-	-	-
080011xx99xxxx	急性膿皮症 手術なし	-	-	11.97	-	-	-
180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	-	-	6.76	-	-	-

急性膿皮症は細菌感染症である丹毒や蜂窩織炎で、重症の場合は入院で治療を行っています。膿の貯留や組織の壊死があれば切開などの処置を必要とします。水疱症は自己免疫性に全身に水疱が出現する疾患です。発疹の範囲が広く、外来での治療が不十分な場合は入院で治療します。褥瘡は一般的に床ずれといわれるもので、長時間の圧迫により生じる皮膚潰瘍です。高齢者や寝たきりの患者にできやすい疾患です。潰瘍が大きなものや感染を伴うものは入院での治療を要することがあります。

循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均	平均	転院率	平均	患

			在院日数 (自院)	在院日数 (全国)		年齢	者 用 バ ス
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1、2あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	494	2.76	4.71	0.00	71.29	-
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	70	18.56	17.95	9.86	86.83	-
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1,3あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	44	9.73	11.38	0.00	82.61	-
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等12あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	35	2.43	3.22	0.00	71.77	-
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等11あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	32	2.34	3.06	0.00	71.84	-

当科ではここ10年、年間 600～700例の冠動脈に対するカテーテル治療を中心に末梢血管に対するカテーテル治療、恒久的ペースメーカー植込み術、不整脈に対するカテーテル治療（カテーテルアブレーション）を行っています。緊急カテーテル治療は年間平均 100件程度あり、24時間 365日体制をとっています。当院の特徴は、ローターブレーターの使用や慢性完全閉塞の治療などの高度な技術を追求するだけではなく、安全第一をモットーとしております。カテーテル関連の検査、治療領域におきましては、幸い開院以来、急性冠症候群に対する緊急カテーテル治療以外の待機症例での死亡例はありません。大きな後遺症を伴う重篤な合併症も皆無です。さらには、心臓血管外科医と共同で胸腹部大動脈に対するステントグラフト内挿術も開始しております。院内設備は、3つのカテーテル検査室があり、同時に3件の緊急カテーテル検査、治療に対応できます。また、当院心臓血管外科では、冠動脈バイパス術、弁形成・置換術、胸部大動脈瘤などの開胸術、腹部大動脈や末梢血管、下肢静脈瘤手術などを行っています。当院では循環器内科医、心臓血管外科医を主に、麻酔科医、臨床工学技士、診療放射線技師、看護師などが対等に議論し、患者さんにとって最適と思われる方法を選択し、協力して治療を行うためのハートチームを結成しております。

ハートチームは、これから時代において心臓病で苦しんでおられる一人の患者さんを治療するにあたって、循環器内科や心臓血管外科などの単科医師が治療方針を決めるのではなく、共同で最適な治療方針を決めねばなりません。そして、その拡大した概念として、これらの診療部門のみならず一般内科医、心臓リハビリテーション指導士、地域のかかりつけ医師、関連するコメディカル、在宅ケアチームなどが結集して一人の患者のために治療方針を協議して、決定するというものです。

日本循環器学会、日本心臓外科学会など8学会から選出されたメンバーで構成される冠動脈血行再建協議会は、2012年に発表した「安定冠動脈疾患に対する冠血行再建術（PCI/CABG）：ステートメント＆適応」で、「冠血行再建方法の選択は、内科医と外科医の共同討議を踏まえて患者に提案することが望ましい」と提言。さらに、「今後は国内で冠動脈疾患はハートチームによる治療へと進むことが予想される」とも述べられています。そして、2014年9月、ESC/EACTSガイドライン改訂版が発表されました。本ガイドラインも待機的 PCIが可能な安定狭心症患者には、治療前にハートチームが協

議した上で、患者に治療の選択肢を提示することを強く推奨しています。このように国際的にも個々の患者の狭窄度や合併症、年齢、長期予後などを考慮した上で、カテーテル治療、もしくは冠動脈バイパス術を選択することがより強く求められるようになっているのです。二番目に多い心不全は、あらゆる心疾患に伴って、心臓の働きが絶対的／相対的に低下している状態をさします。急性心筋梗塞のみならず、加齢や高血圧による心筋そのものの収縮力や拡張機能低下、弁膜症など様々な心疾患が原因となって起こる可能性があるため、循環器専門病院では必然的に症例数が増加します。近年は、心不全に対する心臓リハビリテーションの有効性が確認され、その重要性は非常に増してきております。当院では心臓リハビリテーションセンターを併設し、万全の体制で治療に当たっております。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	11	1	7
大腸癌	-	-	-	-	-	14	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	7

※ 1 : UICC TNM分類, 2 : 癌取扱い規約

胃癌、大腸癌ともに当院では進行症例が多い印象です。定期的な検診を心がけるようにしてください。胃癌手術は術中迅速病理検査などの関係で当院での対応が困難な場合は、関連病院である日野記念病院に手術を依頼することができます。乳癌も診断の段階から日野記念病院 乳腺外科に依頼させていただくことになります。また、胃癌、大腸癌、乳癌でも症状、患者さんの希望に応じて大学病院などを紹介させていただいております。肝癌の治療に関しては当院での対応は難しく、病状に応じて関連病院である日野記念病院、能登川病院、大学病院等を紹介させていただくことが多くなります。肺癌に対してはその診断も含め、近隣病院および大学病院等を紹介させていただくことになります。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均 年齢
軽症	-	-	-
中等症	41	15.85	81.54
重症	18	22.83	84.50
超重症	14	17.29	88.57
不明	-	-	-

市中肺炎は抗生素で治療することが多いですが、脳疾患、心疾患を持つ高齢者では重症化しやすく治癒期間も長くなり、再発を繰り返す場合には治癒しないこともあります。

脳梗塞のICD10別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

ICD10	傷病名	発症日 から	患者数	平均 在院日数	平均 年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以 内	10	3.10	84.50	0.00
		その他	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以 内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以 内	97	24.18	78.07	32.38
		その他	-	-	-	-
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかつたも の	3日以 内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかつたもの	3日以 内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイルス動脈輪閉塞症>	3日以 内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以 内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-

高齢化に伴い脳血管障害は増加しており、特に心原性脳塞栓が増加しています。症状も重症化しており在院日数も長く、回復期リハビリなどへの転院も増加しています。一過性脳虚血発作として診断される症例は、症候としては一過性脳虚血発作であってもMRIにより梗塞がとらえられるようになり、病名分類としては減少しています。また、一過性脳虚血発作で入院している場合には軽傷であり入院期間は短くなっています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢	患者 用 パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	41	0.83	1.22	0.00	66.20	-
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm以上）	10	0.00	1.00	0.00	58.30	-
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	-	-	-	-	-	-
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	-
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	-	-	-	-	-	-

内視鏡的大腸ポリープ切除術は月平均5人くらいで、5mm以上の大きさのポリープを切除しています。主に粘膜切除ですが、大きいものでは留置スネアーをかけるポリペクトミーもしています。当院では抗凝固剤を服用されている患者さんが多く、ヘパリンブリッジをすることも多いですが、切除後の出血も比較的多い傾向にあります。また、脳疾患、心疾患をもつ高齢者が多く抗凝固剤も服用されているため、内視鏡的胆道ステント術を選択することが増加しています。

外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢	患者 用 パス
K6335	鼠径ヘルニア手術	12	1.58	4.33	0.00	64.00	-
K672-2	腹腔鏡下胆囊摘出術	-	-	-	-	-	-
K6112	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置（四肢に設置した場合）	-	-	-	-	-	-
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） (直径3cm以上6cm未満)	-	-	-	-	-	-
K6331	腹壁瘢痕ヘルニア手術	-	-	-	-	-	-

手術は関連病院の日野記念病院、能登川病院の外科医師および大学病院からの非常勤医師と相互協力し、時代に遅れることなく安全な手術を心がけています。

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢	患者 用 パス

								パ ス
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨、上腕、大腿）	38	2.26	35.45	39.47	83.87	-	
K0462	骨折観血的手術（前腕、下腿、手舟状骨）	14	1.21	10.86	0.00	62.29	-	
K0811	人工骨頭挿入術（肩、股）	13	2.38	45.38	38.46	81.15	-	
K0821	人工関節置換術（肩、股、膝）	12	1.08	32.33	0.00	74.58	-	
K0463	骨折観血的手術（鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く）、足、指（手、足）その他）	-	-	-	-	-	-	

整形外科では、上腕骨や大腿骨に対する骨接合術・人工骨頭挿入術が最も多く、前腕・下腿・鎖骨・手指等に対する骨接合術を含めますと全手術症例の約半数になります。股関節や膝関節の人工関節手術も行っております。骨粗鬆症に伴う骨脆弱性骨折が多く、平均年齢もかなり高くなっています。内科的合併症も多く、内科、麻酔科等の協力を得て手術を行っております。

脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢	患者 用 パス
K160-2	頭蓋内微小血管減圧術	72	1.43	5.47	1.39	61.26	-
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	58	0.84	10.41	12.07	78.66	-
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	36	2.42	15.06	11.11	51.00	-
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	10	0.80	12.00	10.00	56.50	-
K171-21	内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	-	-	-	-	-	-

病院の特徴として、紹介患者さんが多い三叉神経痛や顔面けいれんなどに対する微小血管減圧術や下垂体腺腫を含めた良性脳腫瘍摘出手術が多くなっています。緊急治療のため手術が必要な脳外科疾患として最も多いものは慢性硬膜下血腫で高齢化に伴い増加しています。脳動脈瘤頸部クリッピングについては入院期間の短い未破裂動脈瘤が半数で、全体として入院期間は短くなっています。

心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢	患者 用 パス
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	178	0.00	0.50	0.00	66.73	-

K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（2吻合以上）	27	5.56	17.00	11.11	74.81	-
K5607	大動脈瘤切除術（腹部大動脈（その他のもの））	16	3.00	15.31	6.25	72.50	-
K5551	弁置換術（1弁）	15	2.53	15.27	0.00	77.53	-
K5541	弁形成術（1弁）	-	-	-	-	-	-

最も患者数が多い下肢静脈瘤は、切らずに行うカテーテルによる血管内焼灼術を行っています。日帰り、一泊二日入院をどちらでも可能で、患者さんの希望で選択することができます。

大動脈瘤（胸部・腹部）に対しては、若い方や体力のある方には長期成績に信頼のある人工血管置換術を第一選択として行っております。高齢、体力が心配な方、併存疾患をお持ちの方には、大きな切開が不要なカテーテルで行うステントグラフト内挿術を、循環器内科医師と協力して行っています。

心臓手術のうち、狭心症や心筋梗塞など冠動脈疾患に対しては、心臓を動かしたまま施行する心拍動下冠動脈バイパス術を行っています。また、弁膜症に対しては、大動脈弁には弁置換術、僧帽弁・三尖弁に対しては弁形成術を主に行っています。

皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢	患者 用 バス
K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（直径2cm以上4cm未満）	-	-	-	-	-	-
K0102	瘢痕拘縮形成手術（その他）	-	-	-	-	-	-
K2191	眼瞼下垂症手術（眼瞼拳筋前転法）	-	-	-	-	-	-
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（直径2cm未満）	-	-	-	-	-	-
K0053	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（直径4cm以上）	-	-	-	-	-	-

皮膚科では皮膚腫瘍に対する摘出術を行っています。小さなものは局所麻酔での日帰り手術が可能です。大きなものについては、全身麻酔により入院が必要となる場合があります。

循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均 年齢	患者 用 バス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	425	0.38	2.18	0.24	71.20	-
K5463	経皮的冠動脈形成術（その他）	80	0.28	1.45	0.00	72.75	-
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋	25	0.88	20.52	0.00	69.56	-

	梗塞)						
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	25	0.36	7.60	4.00	74.44	-
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	23	0.96	9.35	4.35	78.91	-

高齢化社会に伴い、狭心症や心筋梗塞などの動脈硬化性疾患やペースメーカーを必要とする不整脈疾患が増えてきています。これに伴い当院では、冠動脈インターベンションの中でも再狭窄予防に優れる冠動脈ステント治療が最も多くなっています。ペースメーカー植込みが唯一の有効な治療となる徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み術も増加傾向にあります。

その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[イルをダウンロード](#)

ニア

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

肺炎や腎盂腎炎などの感染症が高齢者では重症化しやすく、敗血症、播種性血管内凝固症候群となる可能性が増加します。敗血症は最も重篤な全身の炎症性疾患ですが、当院ではこのような病態はあまりみられません。しかし、脳疾患や心疾患などをもつ高齢者が多く、一旦そのような病態になれば生命の危険を及ぼすことも多くみられます。

更新履歴

2016/10/1 「平成27年度 湖東記念病院 病院指標」 公開

2017/10/1 「平成28年度 湖東記念病院 病院指標」 公開